

特集

10年先、20年先を見据えた まちづくり



新型コロナウイルス感染症の影響により、今月号に掲載している催しなどは中止または延期となる場合があります。また、公共施設についても休止する場合があります。詳しくは、市ホームページなどをご確認ください。

目次

CONTENTS

- 3 特集
元気なまちづくり
- 6 情報ワイド
▶災害発生前に防災情報の取得を
▶災害情報などの検討委員を募集
▶償却資産申告のお願い
▶印鑑証明書の取得について など
- 11 情報ひろば
- 18 タウン情報
- 19 子育てぱーく
- 20 本のひろば
- 21 健康カレンダー
- 22 フォトトピックス

今月のかけ橋 子育て応援 橋本人



たまご絵本館 司書
岡崎 永子さん (三石台)

自然の中で子どもたちがゆっくり遊べる場所を作り、地域の子育てを応援したいという思いから、無料開放の絵本館を高野口町大野にオープンしました。館内には、たまごに関するものなど1300冊以上の絵本があり、誰でも気軽に好きな本を見られるようになっています。絵本館に来てくれた子どもたちや家族連れが楽しそうに笑っているのを見ると、やっぱりうれしくなります。これからも、子どもたちが安心してのびのびと遊べる場になるよう、絵本館の活動を続けていきたいと思っています。

今月の表紙

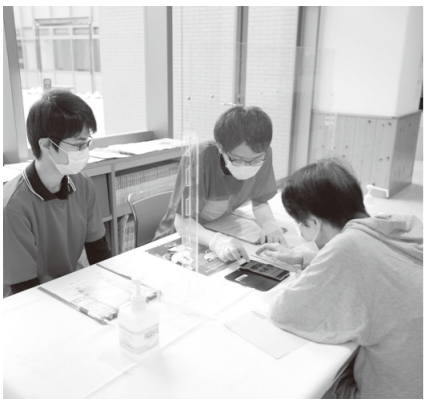


4月20日、恋野で行われたれんげ摘み体験で、きれいなれんげの花を見つけて喜ぶ園児たち。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

平成28年度から5年間取り組んできた「財政健全化」については、市民の皆さんのご協力により、歳入の確保と歳出の抑制を着実に実行してきました。その結果、目標を上回る効果を得ることができましたが、社会保障関連経費の増加や公共施設の老朽化への対応など、市民サービスを守っていくためには、財政健全化を維持する必要があります。誰一人取り残さない社会、持続可能な橋本市を構築するため、現在策定中の第2次橋本市長期総合計画後期基本計画にSDGs（持続可能な開発目標）を反映するとともに、



▲キャッシュレス決済教室の様子

元気なまちづくり 1

将来に向け持続可能なまちを創ります

橋本市長の平木哲朗でございます。引き続き、3期目の市政の重責を預からせていただくことになりました。時代の大きな転換期を迎えた今、本市を取り巻く状況を勘案しつつ、新しい時代の波にも臨機応変に対応できる持続可能なまちづくりを進めていかねばなりません。これからの市政運営は、次のとおり6つの「元気なまちづくりプラン」を展開してまいります。

「橋本市の自治と協働をはぐくむ条例」を推進し、住民主体のまちづくりに取り組みます。また、デジタル技術を活用し、行政事務の効率化などを行うデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進します。